



日本共産党品川区議会議員

週刊 みやざき かつとし 俊一

2011年9月4日 No.765

事務所：品川区豊町6-2-1 TEL.3786-6674



共産党 品川

検索

四中跡に特養ホームを

城南保健生協が、実現へ署名運動

「子どもに面倒かけれない」

豊町6丁目に住んでいるある夫婦。将来、介護が必要になっても自宅で暮らし、施設に入らざるを得なくなっても近くで住み続けたいと言います。

しかし、「息子も仕事が厳しく家族をかかえ大変だ。親の面倒もみてほしいとは言えない」と話します。「いよいよの時になったら



施設に入りたい。四中が廃校になるなら、ぜひそこにほしい」と望んでいます。

請願は

- ①特養ホームなど介護が必要な高齢者の入居・在宅介護施設を増やしてください。
- ②豊葉の杜中学校(旧荏原四中)廃校後の施設に、特養ホーム、認知症グループホーム、ショートステイ、老健施設など高齢者福祉施設を設置してくださいーの

みなさんに協力を呼びかけています。



城南保健生協の豊支部(忠鉢文字支部長)が、豊葉の杜中学校(旧荏原四中・豊町3丁目)の跡施設に特養ホームなど高齢者福祉施設を求める請願署名運動を始めました。豊葉の杜中は、豊葉の杜学園開校(平成25年4月)にともない廃校が決まっています。

請願署名にご協力を
みやざきも呼びかけ

豊葉の杜中学校廃校後の建物は私立高校老朽校舎改築の代替施設として一年半貸し出すもののその後の本格活用はこれから決めることになっています。一方、豊町・戸越・二葉は区内でも高齢化がすすんでいる地域なのに高齢者施設の整備がすすんでいません。こうしたなか、ゆたか診療所や三ツ木診療所などと協力して健康づくり運動をすすめている城南保健生協が、地域住民の切望する特養ホームや認知症高齢者グループホームなどの施設を地元を実現しようとする運動を始めたもの。署名への協力を呼びかけています。

特養ホーム 豊町・戸越・二葉の地域に一日も早く

品川区の高齢者人口はすでに区民5人に1人が65歳以上。独り暮らしや高齢者夫婦のみ世帯が増えています。今年、八潮南特養ホーム(定員81人)が開設しましたが入所待ちは600人超。一日も早い増設が必要です。

「計画的に」というが、20年も先の話

品川区は特養ホームの整備について、一日も早くというのは困難だが計画的にすすめるのとべています。

ところが、3月の予算委員会で私(みやざき)の質問に対する答弁は、「高齢者の施設整備は長期的な時間を見ていく必要がある。団塊世代が高原状態に向かつており、2030年ぐらいが高原状態になるだろう。その

ような長期的スパンで施設整備を考えていく必要がある(健康福祉事業部長答弁)というもので、20年も先の話では今入所を待っている高齢者はどうなるのでしょうか。

豊町・戸越・二葉こそ特養ホームが必要

高齢者の多くは「年をとっても住み慣れたこの地域で暮らしたい」と願っています。一方、品川区の資料でも豊町・戸越・二

葉の地域で高齢者人口の増加が顕著になっています。とりわけ、この地域での特養ホームなど高齢者施設を増設することが求められています。

区も「特養ホームを大きくしたい」と考えるなら

杜松小学校跡の改修について区の企画部長は「特養ホームは待機者もいるのでできる限り大きくしたい。改築できればそれなりのものができるが道路づけの問題が決定的。現実的な選択肢をとらざるを得なかった」とのべ、学校周辺の道路が狭いため建て替えでなく改修になったと経過を説明しました。待機者が多く大きな定員規模の施設が必要と考えるなら、四中跡に特養ホームなど高齢者福祉施設を入れるべきではないでしょうか。

品川区議会・行革委員会も高齢者福祉施設を提言

四中跡への特養ホーム実現へ協力を

今年5月に八潮南特養ホームが開設。品川区は「もうつくりたくない」と言っていたのが、毎年取り組まれた署名運動が実現の力になりました。その後、杜松小の跡施設への小規模特養ホームも決まりました。

品川区議会行革特別委員会(みやざき委員長:当時)も昨年5月、豊葉の杜学園開設にともない空施設となる旧荏原四中について高齢者施設などに活用するよう全会一致で提言を区長に提出しています。



お困りのときは、いつでも
ご相談ください
みやざき克俊事務所
TEL 3786-6674
無料法律相談は
9月16日(金)